

■コメント

1. RSウイルス感染症

定点当たり2.58人と、前週と比べてやや減少しましたが、全国的に流行が続いています。

手洗いの励行、マスクの着用や咳エチケットなど感染予防対策を徹底しましょう。

2. インフルエンザ

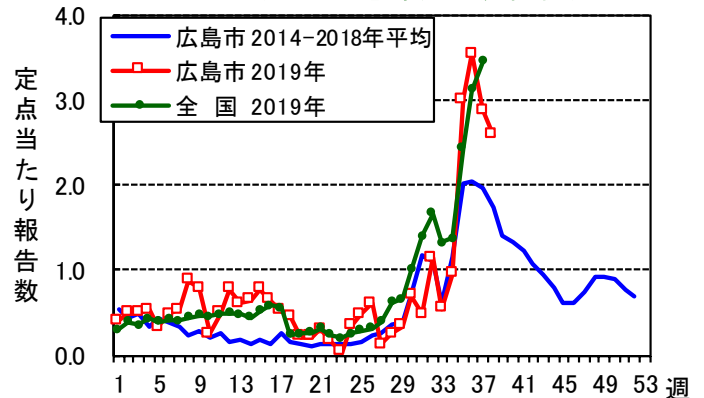
16人(定点当たり0.43人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告がありました。

3. ヘルパンギーナ

定点当たり1.13人の報告があり、例年同時期と比べて多くなっています。

手洗いの励行、排泄物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	16	0.43	0.09	⇒	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.54	⇒
小児科	咽頭結膜熱	4	0.17	0.18	⇒	眼科	RSウイルス感染症	62	2.58	1.73	⇒
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	1.04	1.45	⇒		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	⇒
	感染性胃腸炎	69	2.88	3.53	⇒	基幹	流行性角結膜炎	8	1.00	1.18	⇒
	水痘	3	0.13	0.43	⇒		細菌性髄膜炎	-	-	-	⇒
	手足口病	36	1.50	2.44	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	-	⇒
	伝染性紅斑	8	0.33	0.20	⇒		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.26	⇒
	突発性発しん	13	0.54	0.42	⇒		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	⇒
	ヘルパンギーナ	27	1.13	0.39	⇒		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	⇒

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	121	女性(40歳代)
4	A型肝炎	1	7	男性(40歳代)
4	レジオネラ症	1	19	男性(30歳代)
5	アメーバ赤痢	1	7	男性(60歳代)
5	百日咳	1	68	女性(10歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第34週	3	9	32	91	6	29	17	8	15	1	22	-	3	-	-	-	-	-
		第35週	9	19	21	89	3	39	17	9	24	3	69	-	7	-	-	1	-	-
		第36週	21	7	26	94	3	53	7	12	36	1	85	-	6	-	-	-	-	-
		第37週	16	9	25	86	5	45	9	11	31	3	69	-	7	-	-	-	-	-
		第38週	16	4	25	69	3	36	8	13	27	1	62	-	8	-	-	1	-	-
定点当たり	広島市	第34週	0.08	0.39	1.39	3.96	0.26	1.26	0.74	0.35	0.65	0.04	0.96	-	0.38	-	-	-	-	-
		第35週	0.25	0.83	0.91	3.87	0.13	1.70	0.74	0.39	1.04	0.13	3.00	-	0.88	-	-	0.14	-	-
		第36週	0.57	0.29	1.08	3.92	0.13	2.21	0.29	0.50	1.50	0.04	3.54	-	0.75	-	-	-	-	-
		第37週	0.43	0.38	1.04	3.58	0.21	1.88	0.38	0.46	1.29	0.13	2.88	-	0.88	-	-	-	-	-
		第38週	0.43	0.17	1.04	2.88	0.13	1.50	0.33	0.54	1.13	0.04	2.58	-	1.00	-	-	0.14	-	-
	全国	第36週	0.77	0.45	1.48	3.39	0.23	3.11	0.80	0.43	1.28	0.09	3.12	0.01	0.78	0.02	0.05	0.30	-	0.01
		第37週	1.17	0.48	1.56	3.26	0.19	2.82	0.67	0.44	1.21	0.10	3.45	0.01	0.81	0.01	0.05	0.27	-	0.01

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 眼脂	29	女	2019/08/10	結膜擦過物	アデノウイルス3型
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛	2	女	2019/08/09	糞便	アデノウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★9月24日～9月30日は結核予防週間です！

結核は、年間約15,000人以上の新しい患者が発生し、約2,000人が死亡している感染症です。

近年、結核患者の多くを高齢者が占め、平成30年(2018年)に新たに結核患者として登録された方のうち、70歳以上が約7割を占めています。広島市においても同様に、結核患者108名のうち、約7割が65歳以上の高齢者でした。

結核の症状(長引く咳・たん、微熱、体のだるさなど)には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いため、特に高齢者では気づかないうちに進行してしまふことがあります。

咳やたん、微熱、倦怠感(体のだるさ)が2週間以上続く場合は、結核の可能性がありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

【参考】

・厚生労働省「結核(BCGワクチン)」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html

・健康推進課「【結核】結核について」

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1157697532167/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第38週(9月16日～9月22日)